

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 日だまりハウス 別館

## 目標達成計画

作成日: 令和 6年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		新型コロナウイルス及び他の感染症によるクラスターの可能性が考えられる。	感染に対する知識を持ち、感染予防ができる。	介護従事者として、必要な予防接種を受ける。また予防接種後も、感染症に対する知識を持ち感染予防が継続できる。 新型コロナウイルスだけでなく、1年を通じて各職員が自分のできる感染予防を継続できるように施設全体で確認していく。	12ヶ月
2		職員の知識及び技術が個々に差があり、サービスの低下が考えられる。	医療・介護の知識及び介護技術の向上を図る。 認知症高齢者に対する理解を深める。	4～6ヶ月に1度、各職員の介護技術の確認を行い、利用者それぞれに応じたケアを考察する。個別指導を強化し、個々にあった知識及び技術の向上を図る。 認知症高齢者に対する介護方法などのチームで支える介護を実践出来るように施設全体で確認していく。 職員会議開催時に必要とされる医学的な知識の確認テストなどを実施する。	12ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。